

東京日々新聞

千十五號

むらりく薬

大坂天満の横通りを昔よりて聞へるむらりく薬を賣る主は呂大夫

と云ふ義大夫の師匠の女房は美麗くて賣薬より名高く京人形と

得が兼て此家の寓公と密通して

と呂大夫の疾くも知

りて大さるる鬨斗と

つりて女房が脊負かせ

彼の寓公と叫出して年来

所持の京人形と足下の玩弄に進む

るは何處へありと日御持をこれと追出さきて

二人とも不覚の涙をこぼし薬手よ手とりて出さげ

主人が語る茶理場は似たり

轉々堂

戯録



一萬餘部
寄附
寺

野具足屋
渡辺彫米